



十字軍と信託制度の起源 (従軍騎士の財産保護)



立正大学大学院
経済学研究科講師 畠山久志

十字軍とは何か。

- 11世紀の末、西ヨーロッパで起こった
キリスト教の聖地エルサレムをイスラム
勢力から奪還を目指す運動（11~13世紀）
- そのために王侯や聖職者等が**
「十字軍（騎士聖職団）」を結成
- 結局は、回復できず、失敗に終わった。

派遣回数（約200年間に7回？）

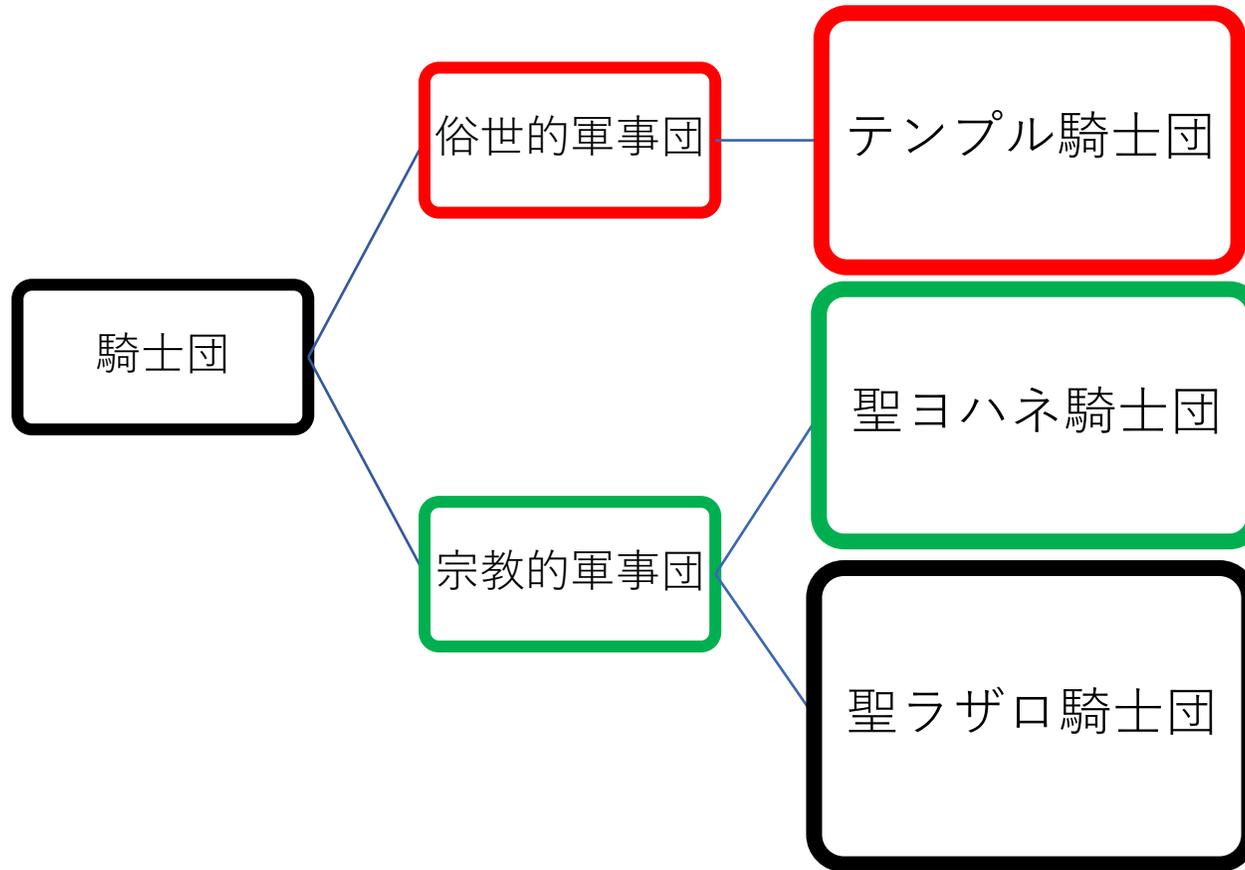
イングランド国王リチャード1世

第1回	1096
第2回	1147
第3回	1187
第4回	1202
第5回	1217 (1228)
第6回	1239
第7回	1248
(第8回)	1270



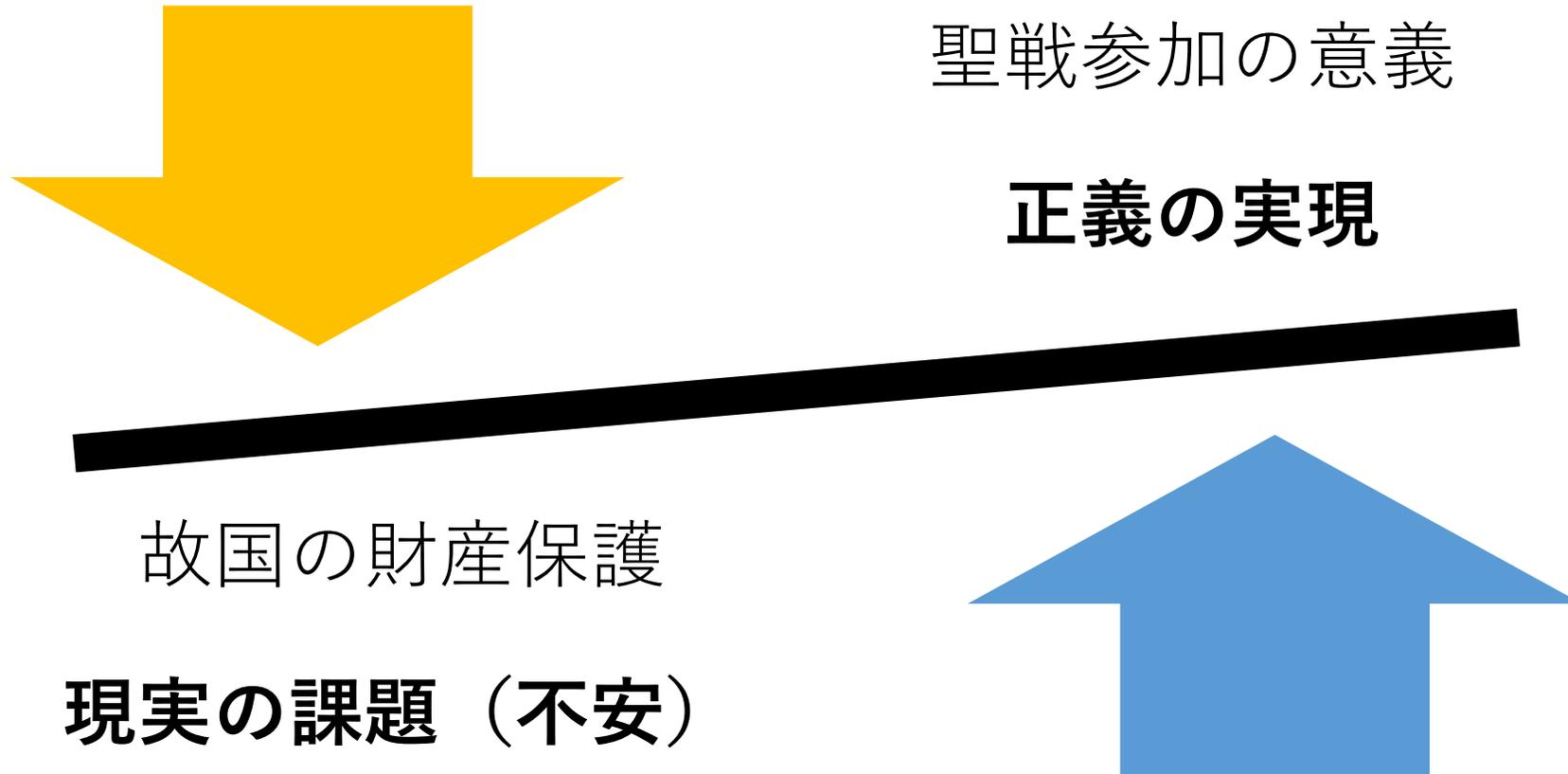
(資料：Wikipedia)

騎士聖職団 (騎士と聖職者の混成)



(資料 : Wikipedia)

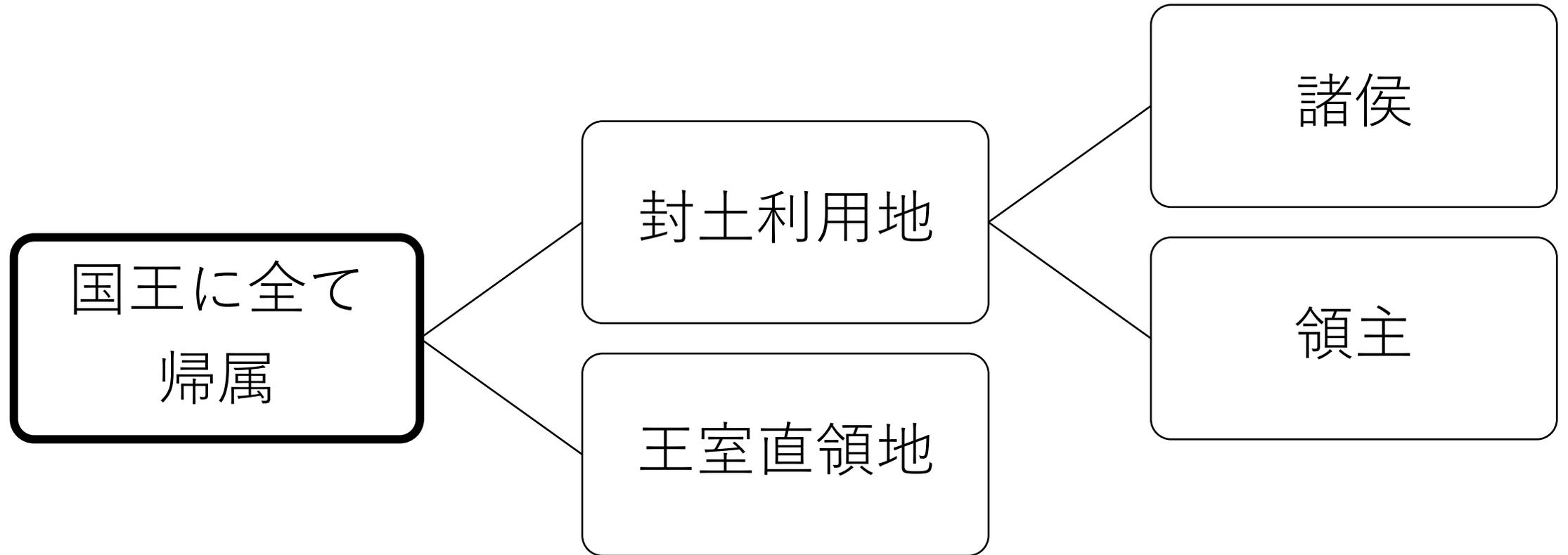
十字軍参加の意義と財産等の保護



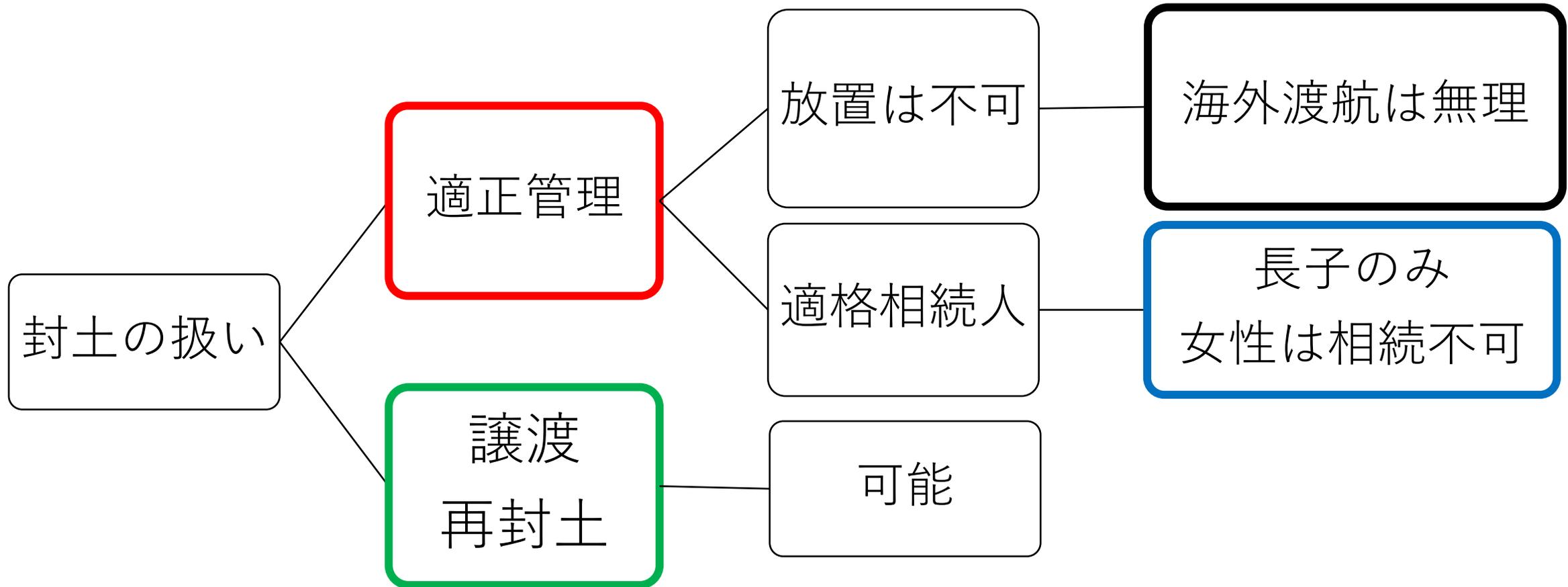
教皇の世俗君主に対する要請 (教皇ウルバン2世他)

- 十字軍参加者への配慮を各国王等に要請
- 内容：土地、財産、家族の安全**
- 従軍時に、一時的特権として付与

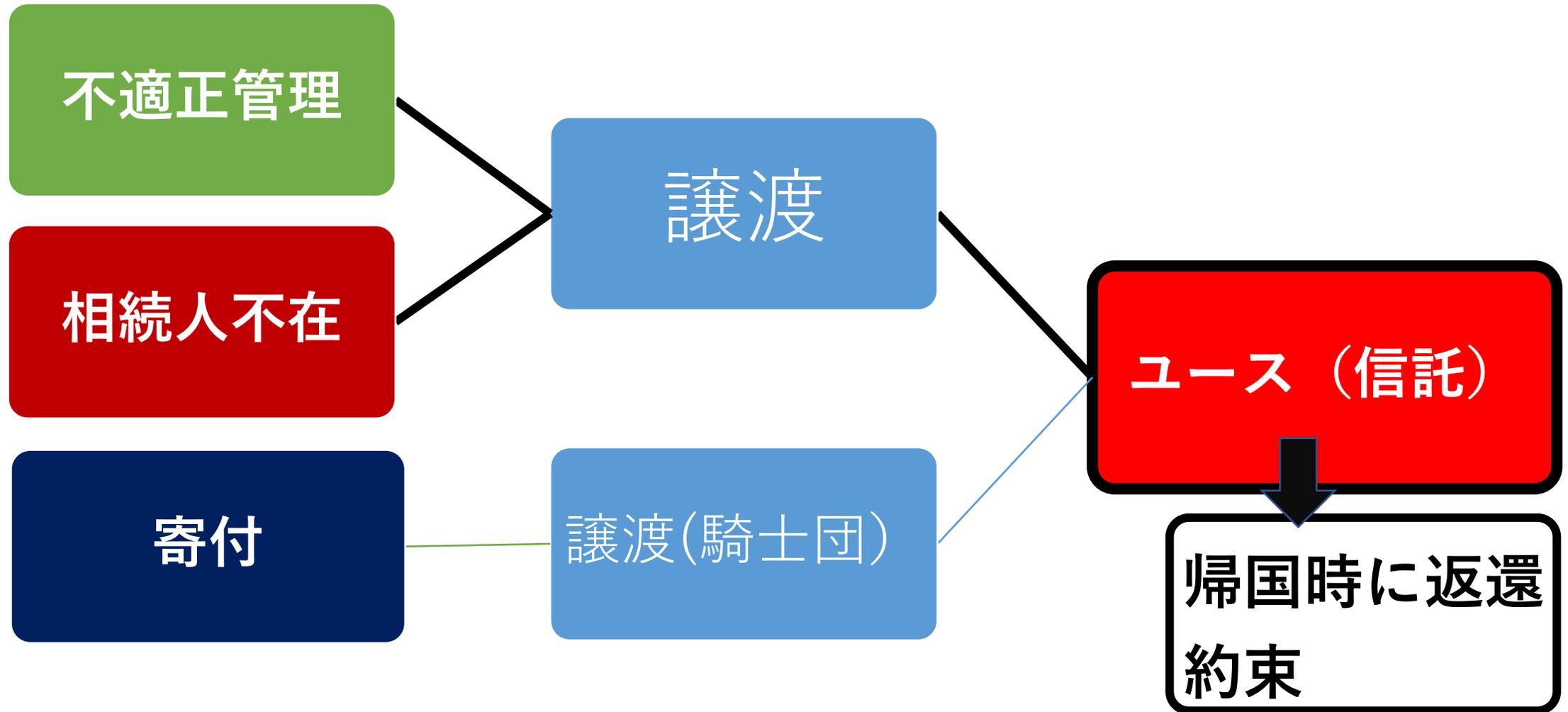
中世英国における土地制度



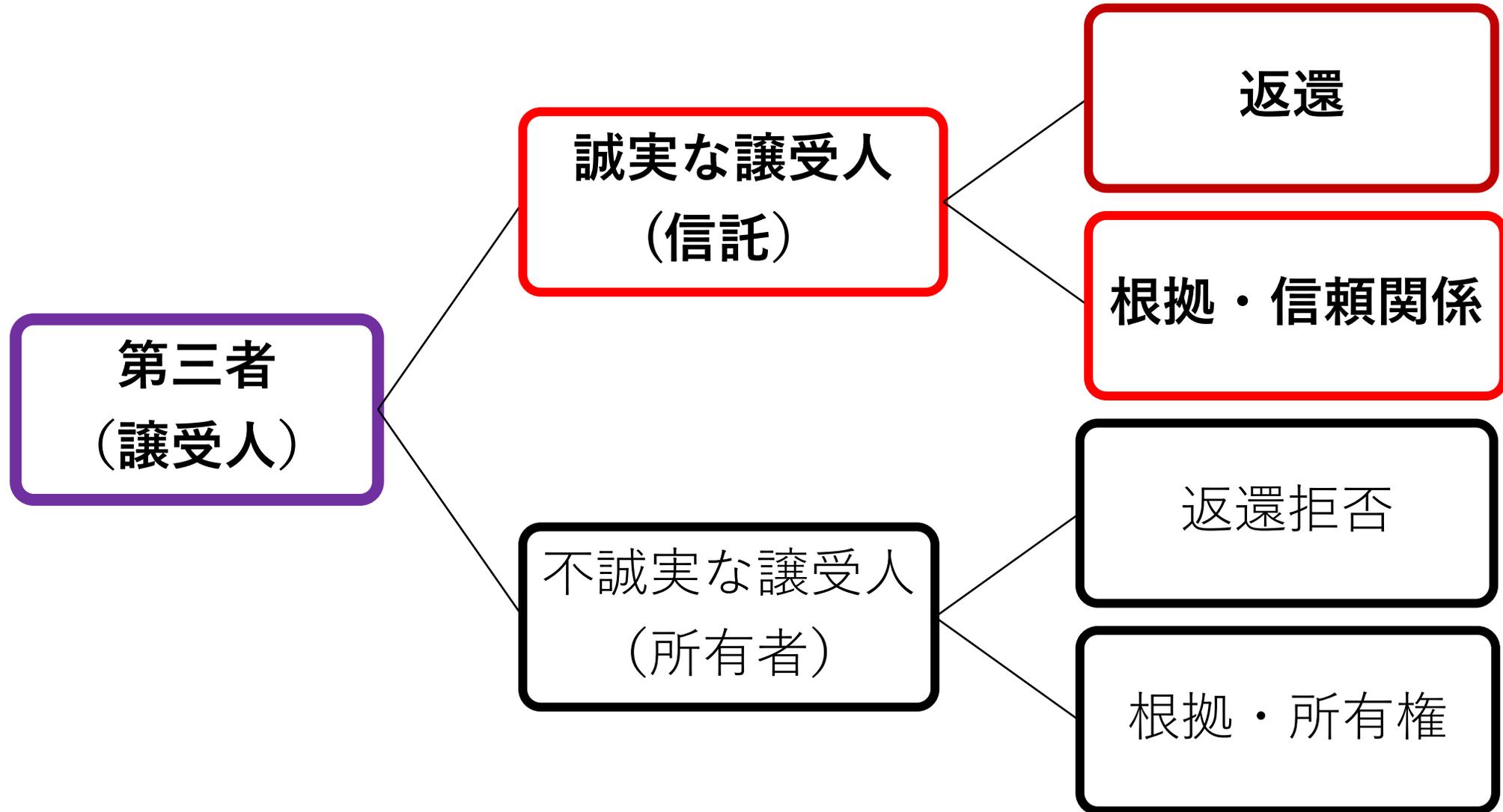
封土の取扱い



財産譲渡の実行



譲渡の問題点（ユースの不完全性）



不誠実な譲受人から保護・信託制度の萌芽

○教皇による従軍者の財産保護要請

⇒各国国王に向け数度要請

○**英国**

通常の裁判所（コモンロー裁判所）

譲受者に所有権があるので保護を否定

衡平法裁判所（エクイティ裁判所）

正義・公正の観点から個別に保護を肯定

信託（ユース）制度の萌芽・開始

参考資料

- ルネグルッセ（翻訳橋口倫介）『十字軍』（1954）
- 橋口倫介『十字軍騎士団（講談社学術文庫）』（1994）
- アンドリュー・ジュテンスキー（翻訳森山安一）『十字軍の歴史』（2013）
- 櫻井康人『図説 十字軍』（2019）
- アミンマアルーフ（牟田口義郎・新川雅子翻訳）『アラブが見た十字軍（ちくま学芸文庫）』（2001）
- エリザベス・ハラム『十字軍大全キリスト教徒イスラームの対立』（2006）
- スティーブ・ランスマン
A History of the Crusades
(1-3 Volume) (1987)